令和 6 年 2 月吉日
大阪府立登美丘高等学校
創立 100 周年記念事業実行委員会委員長(同窓会会長)　笘廣　啓史

100 周年を振り返って(謝辞)

去る 2 月 10 日に 100 周年記念事業実行委員会の最後の会議を開催しました。

登美丘高校卒業生、PTA 会員、教職員、在校生、地域の皆さん、登美丘高校に関わるすべての方々に 100 周年の取り組みが終了したことをご報告します。併せて何かとご協力、ご支援をいただいたことにお礼申し上げます。ありがとうございました。

100 周年記念事業は、2 年間の準備委員会での話し合いを踏まえて、4 年前の令和元年 10 月に実行委員会として発足しました。

実行委員会は結成しましたが、ご存知のように、コロナ禍により、会議の再々の延期があり、事業計画の変更等もありましたが、昨年 11 月 11 日に記念式典、記念行事を行い、多くの方々とお祝いすることができました。

100 周年記念事業は、体育館懸垂幕、卒業生メッセージ、100 周年記念ダンス、1 年前のプレイベント、文化系クラブによる 100 周年ポスター、同窓会の文化祭参加を経て、同窓会館改修、昇降口の生徒ロッカー支援、食堂の空調設置、ICT 基金の設置、タオルやトートバッグ等の記念品の作成と配布、そして当日の記念式典、記念行事、祝賀会とつなげていきました。また、208 ページの 100 周年記念誌の発行、同 DVD の作成、式典当日版の作成を行いました。財源として、PTA 積立金、同窓会積立金、寄付金を充てさせていただきました。

そして、9 期生フランス在住の大石良太さんから「黒山時代の御殿校舎の絵画」、尾道市立大学名誉教授の彫刻家、15 期生の児玉康平さんから「友情の架け橋」の寄贈を受けました。それぞれ校長室前の廊下、玄関前の庭に設置してあります。

これらの記念事業は実行委員の活動はもとより、登美丘高校の 100 周年を祝う多くの方々のご協力、ご支援のもとでなしえたものです。本当にありがとうございました。

この数年、ダンス部等の活躍により、本校が全国的に知れわたるようになりました。多くの卒業生が誇りに思い、母校への思いを振り返る機会となりました。これからも登美丘高校で学ぶ生徒の皆さんが学業、部活動等の頑張りに期待するとともに、充実した青春の 3 年間を過ごせる学校であって欲しいと願っています。そして、これからも地域に誇れる学校としての益々の発展を遂げることを祈念して皆様へのお礼とさせていただきます。